

質問4 所属する学会について <複数回答可> (その他)

その他記述	件数
日本薬学会	4
酵母遺伝学フォーラム	2
日本内科学会	2
農芸化学会	2
CBI学会	1
JHUPO	1
エピジェネティクス研究会	1
なし	1
癌分子標的学会 日本薬学会 RNAi研究会	1
極限環境生物学会	1
極限環境生物学会 日本油化学会	1
蚕糸学会	1
日仏生物学会	1
日本DDS学会	1
日本RNA学会	1
日本RNA学会、日本ケミカルバイオロジー学会	1
日本エピジェネティクス研究会	1
日本ショウジョウバエ研究会	1
日本化学会	1
日本時間生物学会	1
日本食品科学工学会	1
日本生物工学会	1
日本生物物理学会、日本バイオインフォマティクス学会、国際幹細胞学会	1
日本繁殖生物学会	1
日本皮膚科学会	1
日本病理学会	1
日本薬物動態学会	1
日本薬理学会	1
農芸化学会 生物工学会	1

質問6. 質問5.第37回年会コンセプトのように思われたご意見

質問5. 回答 1.よかった(賛同した)
2.よくなかった
3.特になし

※	質問5 回答	理由記述
※	1	ワークショップでの質問が時間切れになることがしばしばあるが、そのような場合にポスターがあると後からでも議論しやすくてよい。
※	1	ワークショップで聞き逃したこと、学生なので他の先生と違って陳腐な質問しかできないので公衆の面前で質問しにくかったので後でポスターで聞けるのは助かりました。
※	1	様々な分野の発表を聞くことができた。ポスターでは多くの人とディスカッションすることができた。
※	1	ポスターの討論に長い時間をかけられたのが良かった。
※	1	専門にとらわれず活発な議論が期待できそうだったから。
※	1	ワークショップは出なかつたのでわかりません。ただ議論主体の会は有意義だったと思います。
※	1	ポスターだと多くの方とディスカッションできるため。
※	1	ワークショップで聞いた演題をポスター発表で直接質問できるのが良かった。
※	1	ポスター発表を中心に活発な議論がなされていたと思う。様々な分野の研究について知ることができ、とてもいい勉強になった。
※	1	ワークショップで聞けなかつた部分をポスターで詳しく聞くことができた。
※	1	ワークショップで聞けなかつた質問をポスター発表時に聞けたのと、ワークショップで分からなかつた部分をポスターで再確認できたから。
※	1	様々な意見をいただける機会が多く、また議論を進めることで気づかないところにも気づけたので、今回のコンセプトは良かったです。
※	1	ワークショップで興味のあるテーマを網羅的に知ることができ、ポスター発表でより詳細に質問等ができたので。
※	1	様々な話題に関して時間に余裕を持って議論できた。
※	1	ワークショップで発表された方のポスター発表が数多くあり、口頭発表時にはできなかった議論をすることができ、大変良い試みであると思います。
※	1	ワークショップでわからなかつた部分をポスターで聴きに行くことができ理解を深めることが出来たから。
※	1	口頭発表者もポスター発表をするという制度は非常に良かったと思います。学生の口頭発表が少なく感じました。
※	1	ポスターを中心にした構成よかつたが、ポスターセッションの時間が遅い時間になるため、最終日など興味のある演題はあるのに、帰路につかなければならないため聴けないなど、なかなか活用できなかった。
※	1	ワークショップで発表した方々がポスターでも発表して下さつたおかげでより深い討論を行うことができたし、大きな会場では聞けない基本的な質問をすることもできたので。
※	1	ワークショップの時間に多くの演題について比較的簡単に内容を知ることができたため。
※	1	ディスカッサーの役割がいまいち不明な所もあつた
※	1	ディスカッサーも含め多くの方と討論できる今回のコンセプトは、ポスター発表が初めての自分にとっても多くのアドバイス・討論が得られたため。
※	1	サイエンスの議論するのが年会の本分・醍醐味だと思う。
※	1	他の学会では口頭発表者とコミュニケーションを取るのが難しいが、今回の年会はそのような壁がなかつたため
※	1	とても盛り上がつていたため、良かったと思う。
※	1	大学院生やディスカッサー、各大学の研究者の方々との多くの議論ができたと考えております。
※	1	普段の自分の専門から近いもの、離れたもの、どちらも非常に楽しめる構成でした。ただ、演目の多さ故に聴きたかつたものの時間がかぶつてしまい残念なこといくつかの発表を聞き逃してしまいました。
※	1	・学生だが気兼ねなく質問しやすかつた ・ワークショップが多彩で面白かつた ・同年代の活躍が見れて気分があがつた
※	1	勉強不足である自分も質問しやすい雰囲気があつたから。
※	1	ポスターでディスカッションする時間が多くあることで、1対1でのface-to-faceなコミュニケーションがたくさんとれたから。
※	1	この学会には初めて参加したが、癌学会や病理学会に比べポスター、WSともに活発な議論があつて楽しかつた特にポスターであそこまで盛り上がると思わなかつた 残念ながら発表者として出る機会はなかつたが、今後も時間があれば参加してみたい。
※	1	今回は初の参加でしたが、とても勉強になりました。
※	1	発表の機会が得られ非常に有意義な機会でした。
※	1	ディスカッサー制度も導入されたことにより、まさにコンセプト通りの発表がなされていたと思う。
※	1	活発に議論が行われていたから。
※	1	ポスターは研究者と直接ディスカッションを自由にできるのでとても楽しいです。
※	1	ポスター討論が中心となつているため、質問する機会が回ってくるのでよかつた。
※	1	ポスター討論時間と被る企画もなく、集中して多くのポスターで議論を交わすことが出来た。
※	1	活発な議論ができ、とても良かった。
※	1	ポスターの時間が長かつたので、多くのポスターを見ることができたため。
※	1	研究内容は研究者によって様々であり、オーラルではカバーできなかった部分が多いポスターではカバーされることとなり、話題も共通のテーマを見つけることが可能となり、より実りある議論が交わせたと思われるから。
※	1	ポスター発表に臨む姿勢に良い意味での緊張感が生まれたと思つたため。
※	1	同じような年齢の方が発表されているのを見ると刺激になる。
※	1	特にポスター討論が良かった。ディスカッサーが到着すると、周りの参加者も「今からここではじまるぞ」と言つた感じで、その演題に参集する景色を目にしたので、ただ立っているよりも闊達な議論の場ができた印象。

質問6. 質問5.第37回年会コンセプトのように思われたご意見

質問5. 回答 1.よかった(賛同した)
2.よくなかった
3.特になし

※	質問5 回答	理由記述
※	1	ワークショップの発表者もポスターを出して質問しやすかった。
※	1	ポスター発表をさせていただいた者としては、ポスターを中心にさせていただいたおかげで、様々な方と議論ができ、たくさんのご助言やご指摘もいただく事が出来ました。ですので、また同じようなコンセプトで開催していただければ、またポスターで参加したいと思います。
※	1	口頭発表をされた先生方とも、ポスター会場でお会いし、話す機会が得られるから。
※	1	クオリティの高いポスター発表がやや増えたように感じる。
※	1	ポスター発表では多くの意見が聞けてとても有意義な時間だった。また、学生の私がこのような大きな学会で口頭発表を経験できたのは、きっとこのコンセプトのおかげであろうと感じた。
※	1	ポスター討論を中心にしていたことにより、演者との距離が近く、コンセプトに適った学会と思うことができたからです。
※	1	多くの人と議論できる機会があったので。
※	1	さまざまな分野が集まる分子生物学会だからこそ、討論の活性化は有意義だと思うから。
※	1	他のイベントを気にせず、議論に集中できた。
※	1	学内だけでは感じられない価値観や考え方等について様々な角度から議論させていただけたから
※	1	参加者が多く、活発的であった。
※	1	ディスカッサー制度とワークショップ募集はよかったと思う。
※	1	ポスターの時間が長く有意義に過ごせた
※	1	分子生物学という幅広い領域において研究されている方々で討論しあう機会があまりないのでとても良かったと思います。研究室ではある一方的な考え方で捉えてしまう部分もあったと思いますので、他の方からの貴重な意見を聞くことができたという点においてとても良かったと思います。
※	2	ワークショップがすべて同じ時間に重なっているのは納得できない。半分は別の時間帯にずらすべきであった。
※	2	議論の様子は去年とあまり変化無いように思えた。ディスカッサーはうまく機能している所もあったが、専門分野の相性によってだいぶ議論がしにくいところも多かったようだ。
※	2	ディスカッサーが機能していなかった。もっと周りからの質問を引き出してくれるのかと思ったが、ただ聞きに来た1人の人だった。偶数演題だったが、奇数演題のときに周ってきた。それはいいのだが、ちょっとしたイベントだと思っていたので、拍子抜けした。
※	3	ディスカッサーの設置は良かったと思う。3日間ということもあり、全体的にこじんまりとしていた上に、テーマにやや偏りがあるようにも感じた。
※	3	コンセプト自体知りませんでした。
※	3	質問はたくさん来たが、自分のデータに対する突込みなどがなく、議論というよりも情報提供という感じであった。
※	3	特になし。
※	3	学会というものに初参加だったので比較できない
※	3	ワークショップが専門的すぎて、去年のように専門分野外でも楽しめる演題が少ないように感じました。
※	3	初めての参加だったので特にコンセプトを感じる機会はなかった。
※	3	初めて参加したので、「今年は良かった」等の感想はないです。
※	3	例年と大きな変化があるように思わなかった。
※	3	コンセプトは良いと思います。また、私自身のポスター発表に関して言えば、昨年より議論がありました。しかし、コンセプトやそれを実現するための施策を私は知らず、また昨年も今年もポスター発表にしか参加していないので、コンセプトの変更がどれだけの効果を上げていたのか分かりません。なので”特になし”としました。

質問7. プログラム集冊子のA5判形態について <複数回答可> (その他)

※	その他記述
※	A5判はコンパクトで持ちやすいと思います。しかし、その分厚くなってかさばるため、A4判が良いのではないかと思います。
※	持ち運びもしやすくちょうどよい大きさだった。今後もこの大きさを希望する
※	スケジュール表をパンフレット化してほしい
※	持ち歩きにはA5が便利ですが、後々他の学会誌と共に本棚に並べることを考えると、A4の方が良いです。
※	ワークショップやシンポジウムの要旨くらいは冊子に載っていた方が便利だったかもしれないと思います。
※	サイズはA4がいいが、軽量化はよかった。抄録もあった方が便利なのだが、あれ以上重いと困るので量は支持する。他の学会のプログラム集と一緒にまとめて保存するので、A5ではなくA4の方が揃いやすくてよい。ただ中身はもっと見やすくすることができると思った。最初のページに情報が詰め込まれていたが、分かりにくかった。
※	スマートホン等で閲覧可能なアプリは非常に有用であった。願わくばさらなるUIの改良を願いたい。例えば、ある発表の概要をクリックして閲覧した後に、元のページに戻ると必ずページトップまで戻されたりするのはストレスフルで不十分なUIと言えるのではなからうか。また、冊子版に関しては、大きさよりも薄さの方が重視されるべき点であると思われる。また、一度に表示される情報量が多いためA4判の方が使いやすいと思われる。

質問8. ITシステムについて <複数回答可> (その他)

※	その他記述
※	スマホの充電がなくなると困るし、利便性がまったく感じられなかったのでアプリは利用していないが、無料Wifi 接続スポットがたくさんあったので良かった。アプリ利用に高額な費用をかけるくらいなら、参加費をもっと安くしてほしい。学生会員の当日会費が高すぎる。
※	メッセージを送れるのが良かったです。
※	演者検索からはポスターなどのスケジュール登録ができず、再度ポスター番号で探す必要性があり、不便に感じた。
※	専用のアプリで学会情報にアクセスできるのは良かった。
※	前年度はSNSの機能が充実しており、気軽に学会の外で集まりを企画したり参加できたのですが、今年はあまりそのようには感じられませんでした。
※	何よりも会場のwifiが脆弱すぎて全く役に立たなかった。(電波は強いが接続がこみすぎて?通信はできない) 会場でネットが使えると思ってノートPCを持って行ったが使い物にならなかった。
※	抄録が見れたのはよかったが、ガラケーでパケット放題に入っておらずネットは使用しないので、どこかで紙ベースで抄録集が確認できるとよかった。
※	今回始めて使いました。便利でした。
※	もっと洗練されたUIが可能だと思います。
※	興味をもてる演題を見つけるのが難しかった。とっかかりが無い、知らないと検索できない感じでした。

質問9. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

※	記述
※	個人的には、癌における分子メカニズムをより多くして欲しかった。
※	神経系を増やしてほしい
※	午前のセッションの演題数がすくなく感じました。以前は午前でももっとセッションが多くあった気がします。
※	ある一定の偏りを持たせることで、そのテーマに関して深く掘り下げることが可能となるため、テーマが偏るのは良い意味で評価できると思う。ただ、その偏り方に関しては分散できるのではないかと思うので、より俯瞰的に偏るべきテーマを配置されることを願いたい。

質問9. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

※	その他記述
※	日本語での発表を入れてほしい。
※	あまり興味を引かれなかった
※	数が少ない、もっと午前中のシンポジウムを増やしてほしい
※	英語ができないので、海外からのシンポジウムはない方がいいのだが、世界の研究者と共に研究しているという感覚がやる気に繋がる。外国人にも自分のポスター発表を聞きに来てもらいたかった。
※	予算の関係もあると思うので海外からの招待を増やすことは簡単ではないと思われるが、日本以外で行われている最先端の知見に触れられる機会の一つであるから、可能な限り海外からのシンポジストを増やしたほうがよいと思う。

質問10. ワークショップについて（その他）

※	その他記述
※	ワークショップの発表言語は日本語で良いのでは？
※	同じようなセッションが固まっていたため、聞けないものもありました。
※	ワークショップと一般演題を一緒のセッションにする必要があるのか？
※	人があふれていて聞きたいワークショップで□を聞けなかった。
※	ワークショップ会場の割り振りが不適切。人が溢れかえって目的のワークショップを聴講できなかった。毎年ある程度の流行はわかるのだから、それに見合ったサイズの会場を必ず用意すべき。来場者数をカウントすることなど簡単なことから、各ワークショップごとにそれぐらいやるべきだと思いました。
※	分野が異なる発表をたくさん聞くことができることは、この学会の利点だと思います。そのため、ワークショップの前にイントロとして、そのワークショップテーマに関する基礎知識のレクチャーがあるといいなと思いました。学問の垣根を外して考えることのススメ、というメッセージですね。
※	例年より学会開催期間が短いせいもあると想像されるが、できれば発表時間等をもう少し長くとり、ゆとりある議論の場となれば相互理解も深まり幸いである。
※	人気のある発表において、部屋に入りきれない人数が集まるという状況が見られた。またその状況に対し座長の対応が見られなかった。聞きたい演題を聞きたい人全員が聞くことができ、議論に参加できる環境があると良いと思った。

質問11. ディスカッサー制について <複数回答可> (その他)

※	その他記述
※	どの方がディスカッサーなのか、分からなかった。
※	・ディスカッサーが雑だった・ディスカッサーが来ずとも時間いっぱい議論があった
※	ディスカッサー制を楽しみにしていたのですが、ディスカッサーの方がお忙しかったためか、お会いできず議論できなかったのが残念です。
※	ディスカッサーが来なかったという話もよく聞いた。
※	ディスカッサーのお陰で、マイナーな研究も議論ができた。その一方で、ディスカッサーはボランティアであり、業績にならないことを伺った。日々の暮らしにあまり余裕のない中間管理職の研究者をディスカッサーにするのではなく、ワークショップやセミナーのオーガナイザーを務める教授レベルの研究者をディスカッサーにした方が、学生一えらい研究者間のネットワークもでき、良いのではないのでしょうか。
※	発表者に話を聞いて議論している際にひどい割り込み方をされたのでやめてほしい。人がいないところに行けばいいと思いました。
※	ディスカッサーがこなかったし、来たとしても話が噛みあうとは思ってなかった。
※	ディスカッサーがいらっやいませんでした。
※	学生の身分としては、見識ある方と議論できることは大変有意義であった。しかし、ディスカッサーによっては対応が悪かったという話も聞いた。
※	ディスカッサーの有無によらず、結局盛り上がるのでディスカッサーの役割については何とも言えないところ。ただ、別の分野の方がディスカッサーをやらされると普段とは違った視点で議論できるので、そう言った点では良かった。
※	ディスカッサーがいたかどうか認識できなかった。レプレッサーとしてもアクチベーターとしても機能していなかったのどっちでも良いのでは。
※	ブースによってはディスカッサーが来るところと来ない所があったみたいなので、全部統一してほしい
※	ディスカッサーの方々には時間が制限されて行きたいポスターのところに行けないのではないかと自分のポスター発表をしながら思った。
※	一般の聴衆となんら変わるところがない。
※	ディスカッサーがこなかった。
※	私のポスターの前は閑古鳥が鳴いていたので、ディスカッサーの方が来てくださって良かったです。私は、late-breakingだったので、近い番号の方も分野が違って、先生は大変だったかもしれないと思います。
※	自身のスーパーバイザーの先生とは違った観点からの意見がいただけで本当に良かったです。
※	興味を持たれない演題を発表するから人が集まらないのだとすれば、それを救う必要はないと思う。
※	機能していないのなら、ない方がいい。もっと周りからの質問やアドバイスを引き出して欲しい。また、講評も欲しい。前もって抄録を読んでくださり、意見をもらえると嬉しい。分野の近い人だとまた嬉しい。
※	ディスカッサーが来たのが分からなかった。
※	そもそもディスカッサーが誰なのかわからなかった。
※	理想と現実の乖離の一例であると思う。本学会ほどの規模の人数を一律に規制することとなる制度は現実的には無理があったのではと思う。おそらくポスターではあまり議論がなされないという予想のもとに発案された制度なのかと思うが、個人的な感想としてはあんなに多くのポスターがあったにも関わらず、ディスカッサー制とは関係のない至るところで、活発な議論がなされていたので、今後は各自の自由に議論できることを期待したい。そしてポスターの展示時間はポスター数に応じて、もっと多くの時間があると有意義なものになると思う。
※	ディスカッサーによるディスカッションの時間が偏っているように感じた。少ないと意味を成さないが、多くても他の参加者との議論に支障がある。ディスカッサーをもうけなくとも専門家による議論の活性化は十分できると感じた。

質問12. 一般演題全般について <複数回答可> (その他)

※	その他記述
※	最終日の終了時間が遅いので、遠方から参加の場合は当日中に帰れず、結局無駄に1泊して翌日帰ることになるので非常に不満である。当日中に帰れるように17時までには終了するか、会期を1日延ばしてもっとゆったりとした日程を組んでほしい。
※	ポスターセッションの時間を昼過ぎなどもう少しはやめるべきであると思う。
※	連日夜まであり、少し長かった。
※	ポスター発表の終了時間がもう少し早い方が良かったです。
※	さすがに最後に3時間かけてのポスターは長く感じた その証拠に最後の自由討論では多くの人が撤収し帰宅していたように感じる(もちろん発表者も) 時間としては人気演題の場合ひっきりなしに人が来るので足りないくらいであろうから、午前と午後に分けるなどした方がいいと思う
※	ポスターセッションの時間(3時間)はよいですが、最終日の夕方から夜にかけての時間帯は仕事等の都合で早めに帰宅しなければならない方も多いと思われるので、最終日のみ日中で終わるようにプログラムを組み立てて頂けるとよいと感じました。
※	自分のポスター前でプレゼンでしたが、別のポスターでも見たいです。
※	もちろん予算の関係上やむおえないところはあるのだろうが、全てにおいてもう少し時間に余裕があるとさらに実りある学会になると思う。
※	最終日にポスターセッションをやるのは、帰る人が多い為、やめたほうが良いと思う。

質問13. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナー&ミニセミナーについて（その他）

※	その他記述
	記述なし

質問14. 本年会の規模について（その他）

※	その他記述
※	セッションをハシゴすると立ち見にならざるを得ない。
※	よくわかりません。
※	分子生物学会はこの規模の大きさが一つの特徴だと考えています。
※	正直に言えば大きすぎるし、WSは立ち見になるし減らしてほしいとも思うが、敷居が低く(評議委員の紹介がいないなど)参加しやすいためにこの人数の多さが活発な議論を生んでいると思うのでやむをえないだろう

質問15. 年会の開催形式について <複数回答可> (合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか)

※	件数
がん学会	1
さっさと生化学会を併合すべき。	1
生化学会	1
生化学会、細胞生物学会、癌学会	1
生化学会との合同開催が良い	1
日本生化学会	1
日本薬理学会	1

質問15. 年会の開催形式について <複数回答可> (その他)

※	その他記述
※	以前のように、日本生化学会との合同開催を希望する。何度もお出張できないし、学会のために貴重な研究時間を裂かれない。
※	他学会との合同開催で視野を広げたい。充分企業のブースがあったが、もっと増えると思うとワクワクする。
※	分子生物学会だけであれだけの大きな規模であり、スケジュールもタイトであるため、他学会との合同開催となると、参加者にとっては両方とも十分ではなくおろそかになるのではないかと思う。

質問16. 年会会期が3日間であったことについて <複数回答可> (その他)

※	その他記述
※	最終日の終了時間が遅いため、当日中に帰ることができなかった(飛行機の最終便に間に合わないため)。4日にして、もっとゆったりとした日程にしてほしい。もしくは、3日のままとするなら、一般公演とポスター発表を同時進行にしてほしい。
※	演題がより増えるのであれば、会期が4日でもいいと思います。
※	みなさんすぐに帰宅したいので、最終日のポスター発表が盛り上がらない。四日目があれば三日目までにポスターをやっけて盛り上がると思う。
※	平日3日になったことで参加しにくいものが増えた気がします。最終日を金曜日に持ってきていた昔の方が良かったです。
※	今回が初参加です。4日間のときの様子は分かりませんが、ポスターセッションの終了時刻が遅めだったため、最終日は交通機関の時刻に合わせて途中で退出する方も居たようです。もう少し早い時刻に終了できるようなプログラムだとお良かったのではないかと思います。4日間だともう少し時間に余裕を作って早めの時刻に終了できるのではないかと思います。
※	日程が詰まっていたので最後まで少し疲れました。
※	その方が少しは人数も分散し、行動にも余裕ができると思う
※	最終日を夜まで開催するのであれば、4日間にして最終日を日中で終了するようなプログラムがよいと感じました。
※	冗長的であるのは避けるべきであるが、タイトすぎるのも考えものである、と今回は実感した。

質問17. 市民公開講座「生命に迫るサイエンス&アートの新たな挑戦」について（その他）

※	その他記述
※	写実的なものが多すぎた。もっと抽象的なアートを期待していた。
※	各人のアートの意図がまったく分からなかった。何を思って描いたのか、説明文があったほうがよい。
※	展示はとてもよかったです、講座内容はサイエンスと関係ないものが多かったように思います。
※	殆ど存在感がなかった
※	端にあったためか、あまり目立たず、近づきにくかった。

質問18. その他、年会全般についてのご意見

※	意見記述
※	ワークショップが行われる部屋が狭くて入れなかった。口頭発表はpublic viewingのように、別室で映像が見られるとありがたいです。
※	ワークショップの参加者に偏りがあり、立ち見の人が出る事態が多かったように思う。反面、がらがらのところもあったので、事前に出席予定のワークショップについてアンケートをとり、部屋割りの参考にすれば良かったのではないかな。
※	当日会費が高い。とくに学生会費。
※	見学で参加するにも参加費がかかってしまうため、今回は見送ってしまいました。次回は、研究発表ができるようにデータを集めて、発表できるようにしたいと思います。今後とも、宜しく願い致します。
※	世間にもっと開かれた年会にしてほしい。
※	Late breaking abstractの告知をもう少し大々的にやってほしかった。場所も端に追いやられすぎてほとんど人がいなかった。改善してほしい。
※	ワークショップの会場が小さすぎた。
※	特になし。
※	楽しかったですよ
※	いまいち不満が残る点が多かった気がします。
※	横浜での学会は良かったと思います。いろんな都道府県でできたら良いなと思います。
※	会場にウォーターサーバーがあればうれしかった。コーヒーが無料でいただけるのはありがたいが水でいい。
※	全体的に、演題の密度が高く、行きたくても時間がかぶってしまっているということが多くありました。このような理由から、4日間開催に戻した方が良いと考えます。
※	ポスター討論では、他の参加者の研究について話を聞いたり、自分の研究について学生さんや先生方、企業の方など様々な方から意見をいただいたりすることができ、良い機会になりました。ありがとうございました。
※	この学会には初参加だったが、人数の性もあるが他の学会に比べ熱気や活気があった気がする。今後はアカデミアから少し離れるが、機会があればまた参加したい
※	初めて出た大きな学会でした。自分の専門ではないのですが、企業のブースやサイエンスアートのブースがとても面白かったです。大きな学会なので、知り合いに会えるということも嬉しいです。1人あたりの発表のインパクトが大きい学会なので薄れるとは思いますが、その中でも大きなインパクトを出していけるように頑張りたいと思います。
※	特にありません。
※	ワークショップの席数の見積もりが甘いと思います。もう少し余裕のある会場を用意するか、どここのセッションに人が集まるかを予測して広い会場と狭い会場に振り分けてほしいです。
※	同じ時間帯にテーマが似ている演題が違う場所で行われるケースがあった。